



平成30年 5月24日(木) 晴れ

朝から暑い。昨日とはまったく違う。体温調節がうまくいかなくて、風邪気味のものい
ませんか？

昨日の日大の緊急記者会見。

おとといの学生の会見とは真逆。

記者会見の、「よいパターン」と「悪いパターン」の見本のようなものが、間髪いれず、
二日続けて見られたことは、ある意味、「危機管理とは、こういうこと」につながり、“危
機管理学部が裏で糸を引いているのではないか”と、思っていました。

それにしても、最悪の上司。最悪の監督、コーチですね。

さらにはあの記者会見の司会者も最低。

司会者はどんなことがあっても逆上してはいけないと思う。

会をコントロールしなければならないのに、切れていてはダメだ。

私も、かつて、バスが来なかった事件に遭遇しました。私の方にはまったく非がありま
せんでしたが、事件は、突然降ってきました。

あれよ、あれよと言う間に、全国ニュースになってしまいました。

でも、対応はしなければなりませんし、学校の方にしか問い合わせが来てませんでした。

そのとき、(さ)最悪を想定し、(し)慎重で、かつ(す)すばやく判断し、行動を起こ
し、(せ)誠意を持って対応し、または精一杯事実と向き合い、そして、(そ)組織で一丸
となって対応しました。すなわち、危機管理の「さしすせそ」が常に頭の中をぐるぐると
回っていました。

こちらが被害者にもかかわらず、それでも、いろいろなところから、質問や、お叱り、
冷やかしなど、中傷めいたことも含め、心が折れそうになることがいっぱいありました。
そう思うと、学生の彼が、あれだけの報道陣の前で、真摯に対応し、すばらしい記者会見
をしました。なかなかできるものではありません。きっと、体中が震えていたことでは
しょう。

でも、記者会見で多くの人の好感触を得たのは間違いありません。すばらしい対応に拍
手を送りたいです。

それに引き換え、昨日の、日大の、大の大人二人の記者会見は、自分の責任逃れをしよ

うとし、保身にばかり回っていたのを見ると、見苦しかった。

こういう人が上席にいるなんて最低です。信用してついていけない。目に見えない権力をかざし、相手にどうとでも取れるような指示をし、私はそんなこと言っていないと逃げる。これって未必の故意じゃないですか？卑怯だ。こんなやつらに動かされていた学生がかわいそうだ。

さらには、司会者の「日大ブランドは落ちない」という言葉に、おごりと慢心が見えてなりません。

国民を馬鹿にしているのか？

そんなことがあっても、“日大は大丈夫だ”と言い切れる自信はどこにあるのか。

栄枯盛衰、胡坐を書いても人が集まるとでも思っているのだろうか。

いつか天罰が下る、いや、下って欲しい。

常に謙虚で、とにかくどんなときも感謝の気持ちを持って、そして、真摯に事実と向き合う姿勢を持っていたいと、あらためて思いました。

平成30年 5月23日(水) 曇りのち雨

朝から曇り、雨が降ってきました。最近の天気予報はよく当たります。

大学アメフト部の加害者の選手が、昨日、記者会見しました。

すごく勇気あることです。私が彼の立場だったら、できないと思います。

それに比べ、大学ののらりくらりとした態度、前監督は情けないと思う。

20歳の学生が自らの顔を出して、真実を述べる。針の筵に違いないけど、あえて記者会見をする勇気。

記者会見の画像を見た後、私は、今後の彼に、「がんばって！」と声をかけたくなくなりました。私は何もできないけれど、彼を全面的にバックアップしてあげたくなるような、すばらしいものだったと感じました。

顔を出し、正直に真実を話す。

彼はアメフトだけでなく、大学も辞める覚悟なのではないでしょうか。

それに比べ、大学側の、相変わらずの、前監督、コーチを擁護する、保身的なコメントを聞くにつけ、大学と言う組織の、あまりの情けなさに呆れてしまいます。

大学には、危機管理学部とやらがあるそうですが、大学の立場が最悪の状況にありつつあるにもかかわらず、その状況もわかっていないなんて、最悪です。

大学自体、もう存在価値すらないなと感じるのは、私だけでしょうか。

今年の大学入試は、ここを受験する受験生は激減するのではないのでしょうか。

最悪の組織、上層部、そして、上司ですね。

どんなことがあっても、部員、部下を守るのが監督であり、師匠であり、上司ではないのでしょうか。

一部員、一部下に責任を押し付け、自分たちを守ろうなんて、なんて情けない組織なのだろう、組織対応なのだろう。

危機管理の「さしすせそ」。その「そ」である、「組織で対応」ということが、この有様

では最悪。まさしく危機管理になっていない。

この大学の危機管理学部って、いったい何を教えるのだろう。

ひょっとしたら、どうしたら炎上するかを実際に実演させたりするとか、最悪な危機管理体制の模範を実際に示すことが、主眼に置かれているのでしょうか。

彼は、「もうアメフトをやる権利もないし、しない。」とも言っていた。

せっかく、高校からはじめて、大好きだったアメフト。

日本代表選手にも選ばれて、順風満帆だったのに、前監督に干され、悩んでいたとのこと。アメフトから遠ざかる自分と、続けなければいけないと考える自分が、相まっていて悩んでいたのでしょう。

尋常ではない精神状態を作り出され、錯乱し、事を起こしてしまった。

このことで、その大好きなアメフトをやめなければならなくなった。

数あるスポーツから、そのスポーツを選んでくれた。

それを生涯、何らかの形でそのスポーツにかかわってくれたらいいと、普通の、よき指導者は考えるだろう。

でも、この指導者は、そのスポーツを嫌いにさせた。

そのスポーツを嫌いにさせてしまったり、燃え尽きさせてしまうような指導者は、最低の指導者だと、私は思います。

その競技で、そのチームや個人を強くして、勝たせることが得意な指導者であっても、そのスポーツを嫌いにさせてしまってはいけません。その指導者は、指導者としては最低だと、私は思います。

高校でも部活動がありますが、もう二度とこの部活動はしたくないと思わせるような指導者であってはならないと思います。

平成30年 5月22日(火) 晴れ

気持ちのいい朝です。

明日は球技大会なのですが、朝から雨模様。準備の関係もあるので、あさっての25日(金)に延期しました。

本日は、県内の国語の初任者15名の方が来校され、本校の国語の先生の示範授業を受けました。すばらしい授業で、「こんな授業を私も高校のときに受けたかったなあ。」と思いました。

初々しい先生方を目の前に、自分の初任の頃を思い出しました。

でも、今の先生方のように、紳士的でスマートではなく、生意気だったあの頃の私。

先輩の先生方の、大きくて寛い心に、どんなにか救われてたことでしょう。

そのときは、そんなことなど微塵も思わず、勝手気ままに振舞っていた自分が、今となっては恥ずかしさでいっぱいです。

先生方には教員のすばらしさ、生きているからこそいろいろなことに出会えること、毎日サプライズな事が起きても、生きているからこそ味わえるのだと言うこと、そして、夢を大いに語って欲しいです。これからの子どもたちの人生に、先生方がちょっとした味付けになって、先生方と出会えた喜びを感じてもらえるような先生になってください。先生

方の教員生活に幸多からんことを願います。

4時間目、早めに授業に行ったとき、ある生徒から、「うちのお母さん、先生に習ったって言ってたよ。」と、ニコニコ顔で言ってきました。

その笑顔はどういう意味だったのだろうと疑心暗鬼になりながらも、穴があったら入りたいと顔を赤らめてしまいました。

家に帰ったら、彼女は母親にどんな風に報告しているのだろう。

「全然わからない授業やわ。」とか、「あんな眠たい授業、だめやわ。」なんて言われてないかな。何か怖いなあ。

もし、保護者の方で、私が教えたことがあるということに気づいた方は、もっと早く言ってきてください。恥ずかしい過去は消せませんが、小出しにされると、ボディブローのようにじわりじわりと影響が来ます。私の心はチキンハートです。

平成30年 5月21日(月) 曇りのち晴れ

朝から晴れだと思ったら、曇っていました。土曜日あたりから空気が入れ替わったのかさわやかです。いや、夜はむしろと寒いと感じませんか？

体温調節がうまくいかないと風を引くので気をつけましょう。

さて、一般的な話ですが、多くの人を見ていると、面倒な手続きって、避けることが多いのではないかと思います。

でも、今までの私の経験ですが、意外と、踏み込んで、面倒だけれど手続きをしてみると、恩恵にあずかる場合が多いことがありました。

面倒だから諦める人が多いと言うのも、実は、わざとそうしている向きもあるかと思われるものがあるのではないかと疑ってしまいます。穿った見方かもしれませんが、手続きされる側も、件数を減らしたいと言う思惑もあるのではないかと。

ところで、「ピンチはチャンス」と言う言葉を聞いたことがありますか？

人はピンチに陥ったとき、その人の本性が現れます。

どんなに平静を装い、取り繕っていたとしても、ピンチになったときには慌てふためき、そのピンチを予想だにしていなければ、絶対にうろたえるでしょう。

そういうときこそ、そのピンチに鍛えてもらえるのです。

そのピンチをどう打開し、乗り切るか。

そのためには、その人の真価が発揮できるように、常に危機意識を持ち、いろいろなシミュレーションをしておくといいでしょう。

また、人はいろいろな場面で常に選択する岐路に立たされています。

右か左か、その次も右か左か。

フローチャートを描いていくと、いろいろな場面で選択を迫られているのです。

最適な選択はなかなかありません。「どちらかと言うと、こちらの方かな」と言う、ベターな選択を選ぶ場合が多いかな？

そのときの基準となるのは、その人の過去の経験であり、その人の失敗体験、成功体験ではないでしょうか？

だから、いろいろな場面で、自らが選択する機会を多く持ちましょう。

その経験が、「生きていく力」になると思います。

いろいろなことに積極的に関わりましょう。

あえてピンチを作り、自分に負荷をかけて、自らの力を試すのもいいかもしれませんね。

平成30年 5月18日(金) 曇りのち雨

今日は朝から、どんよりと曇っています。蒸し暑い。もうすぐ梅雨の季節かなと思われる感じです。来週の23日(水)の球技大会は雨のようだが、どのくらいの雨かな？状況によってはできるといいが…。

日大のアメフトのこと第2弾。

監督は、「私の意図していることと乖離している。誰も反則を犯せとは言っていない。」という主旨のことと言っている。

でも、反則を犯した学生は、「監督の意図は、反則してでも相手をつぶせ、そうしないと試合に出さない。」とでも思ったのだろう。学生に、そう取らせるような言い回し、ひょっとすると、直接言わなくとも間接的にそう思わせるような発言だとしたら、それは、もっと、たちが悪い。

自分の真意が違うのなら、相手に真意が伝わるように話ししないとだめだと思う。

言葉は、自分の意図が相手に伝わってこそ、コミュニケーションツールとして機能するものだと思う。言葉と言って、言葉は魂を持っていると思う。言葉は発せられたら、一人歩きするものではないでしょうか。だから、言葉は慎重に発せられるべきものですね。

以前、その子のためだとおもい、その子に向かって一生懸命、熱く話していたら、自分の真意が伝わらず、拳句の果てに、「お前は、やめろと言いたいのか」と逆切れされた。

そんなこと一言も言っていないけど、相手にそう思わせたことは事実であり、そう取らせるように話していないのに、相手がそう思ったことは私の責任です。

その子にすぐに誤り、自分の真意をストレートに話した。

彼は理解してくれて、私自身もほっとしたことを思い出しました。

どれだけ自分が一生懸命話しても、自分の意図が伝わらなければ、それは自己満足の世界です。

難しい言葉を並べて、煙に巻き、権威を振りかざす、どこかの偉い人たちは最低です。

本当に賢い人は、難しいことを、どの人も理解できるような簡単な言葉にし、説明できる人だと、私は思う。

だからこそ、自分の真意を伝えるには、短くて、そして簡単に、誰にでも理解できるように話すことが大切だと思っています。

だらだらと中身のない話しをするのは、聞く側にとって、迷惑の何者でもないと思いません。その時間を返せと言われても仕方がないとも思いません。

自己満足に終わらないように、そして、話を聞いてくれた人たちが、何かひとつでも、聴いてよかったなと思ってもらえたらいいなと思います。

今までの自分を振り返り、自分に言い聞かせました。気をつけなきゃいけないぞって。お前の話は大丈夫かと……。

平成30年 5月17日(木) 晴れのち曇り

今日は1年生の自転車運転講習会が中濃自動車学校を会場に行われました。技能、学科とも全員合格でした。交通事故の加害者にも被害者にもならないように、今後も気をつけてもらいたいです。

また、2年生対象の進路説明会が午後ありました。3年生と同様、平日の午後にもかかわらず、多数の保護者の方(生徒数の8割)がお見えになりました。ありがとうございました。

昨日、嬉しいことを聞いた。

これを読んでくれている人、いますよと教えてもらえた。

そういえば、カウント数が一日経つと予想より増えている。他のページを見てくれていると思うけど、ぜひ、ここも読んでもらえるような書きぶりにしなきゃと思いました。もし、こんな感想を持ったよとか、こんなこと書いてみたらどうですか、などのアドバイスもください。

「やればできる」というけれど、やらなければ、できないのです。

やればできるのにといわれるということは、よく考えると、やっていないのではないのかな？

やれるかどうかは、やってみないとわからないものです。

まずは走り出しましょう。

本来なら、「細心の注意を払って綿密に計画を立て、行動派大胆に」かもしれませんが、失敗を怖れていては何もできません。

失敗したっていいじゃないですか。失敗したらそこで考えましょう。

臆病にならず、慎重すぎず、大胆に行動をしましょう。

なるようになるさ。何とかなるんじゃないの？

平成30年 5月16日(水) 晴れ

少しずつ暑くなりつつあります。

朝から球技大会に向けて練習している生徒達が外にいます。

外にいと紫外線が突き刺さりそうです。若いうちは黒く焼けているのが若者らしくもありそうに見えますが、それがしみとなり、年をとるとそばかすのように…。紫外線はやはり有害放射線。役に立つこともあります、生命にとっては有害な部分が多いものです。やはり若いうちから紫外線対策をしなきゃ。

日大のアメリカンフットボール部のスポーツマンシップらしくない、“殺人行為”が問題視されています。

あの映像は、誰が見てもアウトでしょう。

もし、その行為を指導者が命じて、させていたのだったら、殺人未遂だといっても過言ではないと思います。そのスポーツのために鍛えた体が肉弾となって、無防備な相手にぶつかっていくと言うのは、空手やボクシングの選手がその手で相手に攻撃するのと同じで、

武器になるから、素人よりも罪は重いと思います。

もし、指導者が自分の指示どおりにしないと、選手として競技に出さないと言う指令を出していたとしたら、選手は従わざるを得ないのかもしれない。しかし、人として、スポーツマンとしての正常な判断が下せる大人なら、たとえ指示されていたとしても、その行為をしない選択をするべきだろうが、そこは体育会系。先輩、指導者は絶対であると言うところに、指示通りに従わなければならない、選択の余地はなかったかと思います。

そうすると指導者が、もしくは大学側が責任を負うことになるのではないのでしょうか。ただ、責任をおったとしても、怪我をさせられた選手の体が元に戻る保証はない。

とにかく正々堂々とルールにのっとり、ルールの中で精一杯、対戦相手をリスペクトしながら、スポーツとしての競技をして欲しいものです。

けんかではない。殺し合いでもない。スポーツです。

スポーツするほうも、またスポーツを見るほうも、楽しく、熱く、気持ちよく、さわやかな気分になりたいものですね。

平成30年 5月15日(火) 晴れ

今日は3年生の進路説明会があります。例年、平日にもかかわらず、多くの保護者の方(3年生の約8割)に来ていただき、感謝にたえません。

いよいよ出口の入試を踏まえて、保護者の方、受験生である3年生諸君への説明と、エールを送る会です。

「先んずれば制す」、「準備万端、難を怖れず」

平成30年 5月14日(月) 晴れ

さわやかな晴天。外の日差しは強く、紫外線が突き刺さる感がある。校舎内はまだひんやりすることもある。すごしやすいですが、もうすぐ暑い夏がやってくる。

「いいかげん」より「いい、加減」。「恕」の精神で。

人は失敗をします。私も、自分で、よく、「いいかげんだなあ」と思うことがある。

「いいかげん」より、「いい、加減」でありたい。

多少、ミスってもいいじゃない。お互い、気を張らず、ミスしても許そう。

「恕」の精神で。気楽にやろうよ。

「完璧」って何なの？

上を見ればきりが無い。際限がない自縛にとられるな。

適度に、適当に。

平成30年 5月11日(金) 晴れ

さわやかな晴天。気持ちいい。

連休も明けて、もう1週間が経ちます。連休前のペースに戻ったでしょうか？

今日は、第1回命を守る訓練。

ふと、テストで思った。間違っていたら、ご容赦を。

テストを受ければ、結果は点数で返ってくる。どうしても点数だけが一人歩きを。他人との比較もその点数だ。

どこができていて、どこができていないかは、皆違うのに。その合計点数のみで順位付けされ、判断される。

本来、テストは、今、どこができていなくて、どこができているのか、どこがわかっている、どこがわかっているのかを確かめるためのものでありたいし、自分の弱点やわかっているところを克服していく材料でありたいと思う。

しかし、模擬テストや入学試験となると、すべての生徒を順位付けして判断せねばならないから、そんなこと言ってはもらえないのだろう。これは仕方がないことなのかもしれない。

テストで、たまたまできてしまったところは、ラッキーだったと言うだけで、あまり振り返らないことが多いのではないかな。ビギナーズラックなのに、そのままおざりにしてしまう。

そこが盲点だ。そういうところがその人にとって弱点なのに、おろそかにしてしまう。さらに、よくあることだが、そこが本番に出て、しくじる場合が往々にある。

テストは、テストをやった後が肝心だと思う。振り返りが大切だ。テストをやった直後の記憶の鮮明なうちに、もう一度確認をすると、必ずその知識は記憶に定着すると思う。

点数という結果にこだわりを持つのも必要だが、できていないこと、できていること、わかっていること、わかっていることをしっかりと区別でき、把握していること、つまり、自分の現状をしっかりと把握し、今後どうして行くかを考えることこそ重要だと、私は思う。

平成30年 5月10日(木) 晴れ

さわやかな晴天。気持ちよく、朝、校舎内を回りました。朝早く登校して勉強をしているものも多く、また、廊下掃除をしている生徒もいて、頭が下がりました。

「努力しても報われないかもしれないが、努力しなければ絶対に報われない」という言葉を耳にしたことがある。

私はできるほうではない。能力もさほどない。ただ、ひたすらコツコツと取り組むことはできそう。続けることはやがては、それが能力となるのかな。続けられることこそが能力なのかもしれないと自分で自分を褒める。

できるかできないかと考える前に、まず、やってみよう。

踏み出してみよう。結果がどう出るかはそのときの運もある。

でも、なぜそうなったかを必ず分析しよう。

自分にとって、よい結果でも悪い結果でも、結果が出るということには変わりがなく、何かをしたと言う証だ。

現状維持は後退であると思う。

挑戦することで新たな展開が生まれる。結果が出たらそこで考えればよいではないか。

まず、踏み出してみよう。
と、自分を鼓舞してみた。

平成30年 5月 9日(水) 雨のち晴れ

雨が少し残った朝。すぐに天気も回復し、晴れてきました。

3年生のクラス写真を撮っていました。卒業アルバムの写真かな？

18歳という年は二度と帰ってこない。もっと言うと、今日という日、今と言う“時”は二度と戻らない。若いときは、早く大人になりたいと、背伸びをします。事ある毎に、「子どものくせに」とか、「近頃の若い者ときたら…」などと言われ、腹が立つ時期もあるだろう。でも、その若者も、やがては大人になる。

伝統って何？

先日、相撲の土俵上で市長が倒れ、女性が土俵に上がって助けようとしたところ、「女性は土俵から出てください。」と言うアナウンスがあり、物議を醸した事があった。

伝統っていったい何だろう。

時代とともにいろいろなものは変わって行く。それほどまでに縛られなければならない伝統って、本当に意味があるの？

よく、「その伝統を守らなかったから崇られたのだ。」とか、「悪いことがおきたのはそのせいだ。」などと言うものがある。ややもすると、魔女狩りのようなことにもなりかねない。

伝統に縛られることで、時代の流れに取り残され、消えていった物もあるはずだ。

変化に柔軟に対応する力がなければ、生き延びては行けない。

生物の“種”もそうだ。

その時代、そのときの環境、いろいろなこと、ものにうまく対応できたものだけが、生き延びている。伝統にこだわり縛られてはいけけない。むしろ打ち破らなければならない。

こだわるな、とらわれるな。

「何百年と続いている伝統には、それなりの理由がある」と言う人がいる。

いや、それは、ただ、やめるにやめられないだけのことじゃないのかと思う。

やめたら、その後で何を言われるかわからないから。

こんなことを思い出した。

小さい頃住んでいた実家の寄り合いで、念仏講なるものがあった。

父は若くして妻を亡くしたので、頻繁にある当番が回ってきたときには、準備から後片付けまで、仕事から帰ってきてから、一人で何もかもしなければならず、大変だと嘆いていた。

他の家では夫婦が揃っていて、皆、専業主婦だったので、準備は妻が行い、夫は会に出るだけ。

そこで、父は思い切って、その念仏講を辞めることを提案した。

当然、皆は大反対。でも、父はその会を抜けた。

すると、会自体がなくなってしまう。一人抜けただけなのでやめなくていいものを。実はきっと、皆もやめたがっていたのだろう。何となく予想がついた。

しかし、近所によくないことが立て続けに起きた。これは、「やめた祟り」だと言われた。

父が非難された。その後も、父は亡くなって随分経つのに、未だに言われることがある。父が言い出したことで長年続いていたものがなくなって祟られたのだと相変わらず言う。皆はやめたいと思っても言い出しづらく、父が言い出したことが渡りに船になり、父のせいにできているのだと思う。

臨機応変に立ち振る舞いができる人になりたい。いろいろなしがらみ、縛りにこだわることなく、また、とらわれることなく、気楽に生きて行きたい。子どもたちにも、いろいろなしがらみにとらわれることなく、生きて行って欲しいと願っている。

伝統のものってなくなったってしかたがないと思う。それが時代の流れならば。

今ある職業だって、何年か先にはもうなくなっているかもわからない時代だ。

時代を読み、流れを読み、こだわることなく、またとらわれることなく、臨機応変に生きていかなければ、逆に伝統は消えていくのではないか。

いろいろなものは、少しずつ変化しながらも永らえていけばよいのではないかと思う。

平成30年 5月 8日(火) 晴れのち曇りのち雨

昨夜、降り続いた雨も、朝は止んで、水はけのよい本校のグラウンドは、ところどころ、ぬかるみはあるものの、本日の体力測定には使用可能です。すごいグラウンドだ。

生徒は登校してから、すぐに自分の持ち場で準備をしていました。言われなくても考えて段取りできる“段取り力”。すばらしい。これこそ、“生きていく力”だ。

午前中、天候がこの状態で何とかやり終えた。

午後から雨がまた降ってきた。セーフ。

平成30年 5月 7日(月) 雨

朝から雨です。一日続くようだ。

3日から6日までの4連休は、いろいろなところで、試合、大会、コンクール、演奏会など、ありました。

今日は連休明けのテストもありました。

明日の午前中は、体力テスト・身体測定があります。

平成30年 5月 2日(水) 曇りのち雨

今日は5時限まで授業。5時限目は、公開授業で授業参観OK。

天気が悪くなっています。午後から雨。駐車場はグラウンドを予定。今にも降り出しそうな、空が泣き出しそうな、そして、これから雨が降るぞつと言う、なんともいえない風。

授業参観の後、PTA 総会があります。その後は学級懇談会です、予定がギュッと詰まっています。

大雨の予報です。被害がないことを祈ります。

明日から4連休。でも、各地で各競技、試合、大会。コンクールなど目白押し。

有意義？な休みであるといいですね。

平成30年 5月 1日(火) 晴れ

ゴールデンウィークの前半も終わり、今日、明日を終えれば後半の4連休になります。あすは、PTA総会があります。夕方には雨。3日も雨。後半は寒暖の差も激しいとの予想。

今日から五月。あつという間の4月でした。生活に慣れたかな？

来年の今日は、新しい元号になっています。何になるのか楽しみです。昭和生まれの私にとっては、年齢や年数の計算が平成をはさむので面倒です。それだけでなくとも記憶力や能力が減退していくのに……。は西暦のほうがし易くなりますね。

平成30年 4月27日(金) 晴れ

暑くも寒くもなく、春らしい一日。もうすぐ目の前に夏が来てる。

ところで、昨日の疲れを感じさせない元気な生徒。昨日の強歩大会の後、部活動で思いっきり走っていた生徒。

若いってすばらしいな。若さはもう戻ってこない。時間は巻き戻せないですね。

今日は金曜日。いよいよ、明日からゴールデンウィークに入ります。

でも、提出課題はあり、テストがある。また、部活動の大会もありと、高校生の休む暇はありませんね。私もうかうかとしてはられない。

自分のペースで時間調整をし、自分のペースで生活をしましょう。

時間に振り回されるな。諸用事に振り回されるな。自分が主体となるような時間の使い方しよう。

自分が自分の人生の主役だ。

すべてに正直に生きなくてもよい。

大人になるためには、人を傷つけてはいけませんが、時には自分を取り繕うことも必要だ。

人との付き合い方は難しい。でも、自分を苦しめてはいけない。

上手なコミュニケーションのとり方も学んで欲しい。

平成30年 4月26日(木) 晴れ

絶好の強歩大会日和。

朝から快晴。昨日の雨がうそのようです。

24kmの長丁場。怪我も泣く安全に行事が終わりました。一安心。

さわやかな風が吹き、でも、紫外線はつよかったが、若い生徒たちの顔は生き生きとしていました。私も若者に混じって24kmを完歩できました。

途中で挨拶を交わしたり、また、いろいろな話をさせてもらいました。私にとっては、とても有意義なひと時でした。気を遣って話をしてくれてありがとう。

明日は筋肉痛かな？

でも、それは若い人の話。

私は、いつ出るのだろう？

ひょっとしたら私の筋肉は忘れていないかもしれないな。

平成30年 4月25日(水) 雨のち晴れ

朝から大雨警報が出ていた。

8時10分過ぎに解除。通常は2時間後からのスタートだが、きりのよいところで、11時半の4時限目から始めるメールを出した。

しかし、長良川鉄道は美濃以北で止まっていた。

すぐに全線開通したが、美濃以北の生徒は12時55分の5時限目からのスタートとした。でも、非常変災時なので、出欠については便宜を図るつもりでいます。

午後からは好天に恵まれました。

あすは、第68回強歩大会が開催されます。

天気がよすぎて、熱中症や過度な日焼けにならないことを願います。

平成30年 4月24日(火) 雨

朝からぱらついていた雨もすぐに本降りになりました。

午前中に関市に危機管理課の方と消防団の副団長の方がお見えになりました。

傘10本と、合羽10セット、合羽をかけるラックをいただきました。将来の消防団員の高校生への寄贈だということです。

まさかの雨のときに、本校の他の“愛の傘”とともに使わせていただきます。ありがとうございました。

また、明日の予定では強歩大会ですが、この空模様です。このまま、ひよっとすると大雨になるかもしれません。次の日の予備日である木曜日は、必ず天候がよいと言う予報が出ているので、生徒の安全を最優先して、あさって26日に延期する決断をしました。

すぐメールでも配信し、7時間目の説明会でも連絡しましたので、生徒の皆さん、あすは、授業ですよ。準備をよろしく。

明日の朝、大雨警報等、警報が出てる場合には、生徒手帳に書いてある手順に従って行動してください。

とにかく自分の命は自分で守りましょう。

平成30年 4月23日(月) 晴れ

今日は、サン・ジョルディの日。

知ってましたか？

この日は「本の日」とも呼ばれ、スペインのカタルーニャ地方では、親しい人に本を贈る記念日とされています。この風習は20世紀後半に「サン・ジョルディの日」の名とともに日本へも紹介され、ユネスコでは、スペインからの提案に基づき、4月23日を「世界図書・著作権デー」いわゆる、“世界本の日”に制定しています。

日本では4月23日が「子ども読書の日」と定められています。

ちょっと、手軽に読書でもいかがでしょうか？

本校では、朝読書をしています。

生徒が落ち着いて一日に始まりを迎えています。

平成30年 4月20日(金) 晴れ

金曜日。

大体の人が1週間の疲れを感じるのか、気持ちに余裕がなく、ぼんやりとしている人も多く見受けられる。そんなことない！と言われるかもしれないが、少しずつ蓄積してるものですよ。疲れと言うものは。この土日でリフレッシュできるといいけれど、予定が詰まっている人も多いですね。時間に振り回されないようにしたいものです。

平成30年 4月19日(木) 晴れ

1日天気もよく、お客さんの多い日でした。

平成30年 4月18日(水) 雨のち晴れ

朝から雨です。でも、午後には晴れるという天気予報。
実際に晴れた。最近の天気予報はすごくよく当たる。
本日は8のつく日。

ところで、ある人からこんな相談を受けました。どう思われますか？

二人の学生がいる。二人とも、同じ地域から、同じ大学に行っている。

一人(Aさん)は学校の近くに下宿した。その学校には、多くの実習があり、その実習が大変だということで、実習中は朝早く実習場所に行かなければならなかったり、または、夜遅く帰宅することもあるだろうからと、Aさんの親御さんは、学校の近くに下宿を借りたそうだ。

もう一人(Bさん)は片道2時間かけて公共交通機関で通っているとのこと。

実習の日が近づいてきた。

実習に行く場所が遠く、通うのには時間がかかって、1番電車で行っても、ひよっとすると遅刻するかもしれない。

そこで、Bさんは、「実習中の1ヶ月ばかり、泊めてもらえないか。」とAさんをお願いをした。特に、BさんはAさんと親しいわけでもなく、また、一度もAさんの下宿には来たこともない子だ。

この場合、あなたは、Bさんが困っているからと言って、実習中の1ヶ月、泊めてあげることはいけますか？

Aさんの立場なら、実習という、特に大事で、神経を遣う期間なので泊めたくない。ましてや、実習中、今までまったく一緒に住んだこともない子と1ヶ月一緒にいて、レポートや予習、それから生活習慣の違いなど、たぶん息が詰まって、苦痛以外の何ものでもない日常がおきくと思うから、きっと、本心は泊めたくないと思うだろう。

でも、そんな期間中、Aさん自身は苦しむかもしれないが、困っている子を見過ごすわけに行かないとも思うだろう。

頭の中を、天使と悪魔がうごめき、悩むだろうな。

Bさんの中では、単純に頼んだだけかもしれないが、そのくらいAさんを苦しめているということは、きっと思っていないだろう。

その学校では、一般的には、公共交通機関を使って遠くから通っている子は、実習中には、近くにビジネスホテルなどを借りて実習に行く子が多いそうだ。マンスリーマンションを1ヶ月借りる子もあると聞いた。

そういう子が多い中、Bさんはそういう手立てを考えないで、安易に、他の子に甘えようとしたのではないかと思う。(考えた挙句の決断なのかもしれないが…)

Aさんは、結局、いろいろ悩んだ末、Bさんに断った。

でも、Aさんは、“Bさんが困っているから頼んできたのに断ってしまった。”という罪悪感を強く持って、悩んでいる。

私の思ったとおりだ。

私はその話を聞き、Aさんに、「まず、Bさんが、実習場所が遠くて通うには時間がかかるので、親に、ビジネスホテル等を借りるように話をしたのだろうか？」と聞いたら、「Bさんはそんなことするはずがない。一人で住むのはもったいないし、一人では住みたくないということで、たぶん、親には話してないと思う。」とのこと。さらに、あえて、「Bさんに、『親に話した?』と聞くのもいやだ。」と言っていた。

Bさんは、ビジネスホテル等を借りる努力もせずに、安易に、Aさんに頼んで、何とかなると思ったのではないかなと推測される。

さらによく聞いてみると、細かいことだが、1ヶ月の部屋代、光熱費、食費等の話は何も出なかったし、どうも、1ヶ月、ただで泊めてもらおうとしたような雰囲気を感じ取られたとのこと。

勝手すぎる。その親はそういう事実を知っているのだろうか？

たぶん、Aさんの話では、親には言っていないと思うから、たぶん親は知らないと思うけど、でも、もし、Bさんの親が、そのことを聞いていて、「友達に頼んでみたら、どうなの？」などということ言っていたら、私は、「×」です。

私が親なら、他人に迷惑をかける前に、自分の子どものために何とかしようとするし、何とかしようと四方八方手を尽くし、何とかするつもりだ。

さすがに、何ともならなかったとしても、自分が1ヶ月、送迎をするぐらいの覚悟を持つつもりです。

親の態度、姿勢、価値観、考え方って、大事だ。

育てると言うことは、いろいろな考え方が、子どもに伝わる、繋がる、繋げるということだと思う。

後日談だが、ずっと以前に、Bさんとのやりとりに、こんなこともあったそうだ。

Bさんに、「講義のノートを貸して。」と言ったら、「あなたは、代わりに何をしてくれるの？」と交換条件を出してきたそうだ。冗談ではなく、本気で。ギブアンドテイクかもしれないが、Bさんにとっては、「される側」と「する側」では、論理が違うのだなと感じた。

もし、Bさんが、Aさんの立場で、「実習中の1ヶ月ばかり、泊めてもらえないか。」に対して、どう返答したのだろうか？

私は思う。たぶん、即答で、「NO!」と言っていただろう。

たぶん、自己中心的な子ではないかと思う。自分勝手な子ではないかと思う。現実には違ふかもしれないが、たとえ、Bさんがそういう子ではなかったとしても、第三者にそう思わせている現実は否めない。

そんな子に悩まされ、罪悪感を感じて、つらい思いをしたAさんがかわいそうだ。

でも、はっきり断ったことで、Aさんは、今後は楽になると思う。そう思いたい。

しかし、多分、何も深く考えていないBさんは、また頼んできそうな気がする。
Aさんがつらい気持ちになるようなことがないように祈らずにはられない。

平成30年 4月17日(火) 曇りのち雨

どんよりとした曇り空。気分が晴れないかもしれないが、気持ちを入れていきましょう。
今日の夜、PTA本部役員会がありました。

平成30年 4月16日(月) 晴れ

土、日で雨が降りました。草木が一気に生えて、雑草が生い茂り、草刈をしなければなら
ないと思いつつも、また、1週間の始まりです。
生徒の様子を見ています。新年度、新学期の始まりのときよりも落ち着いてきていますね。
新鮮なときの気持ちを忘れず、頑張ってください。

平成30年 4月13日(金) 晴れ

相変わらず、すばらしい陽気。

これで9日の月曜日以来、1週間が終わります。

あなたは、この1週間を長く感じましたか？それとも、短く感じましたか？

時間の長さは1週間なのに、感じ方によって、長かったり、短かったり、人さまざまで、
面白いですね。極端に言うと、1分が1時間のように感じられたり、また、1秒のよう
にも感じられたり……。心のもち方次第で、感じ方はどうにでも変わるんだね。

まだ始まったばかりです。来週も頑張らしましょう。

まだまだ、4月。交通安全に気をつけてください。被害者にも加害者にもなりえます。
慎重で安全第一の通学・通勤を心がけましょう。

平成30年 4月12日(木) 晴れ

すばらしい陽気。きっと、花粉がバンバン飛んでいるような気がします。

今日は、LHRで役員決めがありました。話し合っていて決めているクラスや、黒板に早く書
いたもの順？などさまざま。でも、きっと、皆その役に頑張ってくれるだろうから何も心
配はしていない。

また、担任による教育相談が始まりました。環境が変わった中で、どんなことでもよい
から相談してくれるとうれしいな。

幼、保、小、中、高、どこも新入生あり。交通事故に気をつけて何よりも安全第一に登
校、出勤しましょう。

平成30年 4月11日(水) 曇りのち雨

部活動紹介がありました。

どんな部に入って活躍してくれるのかな、楽しみです。

平成30年 4月10日(火) 晴れ

午後に、体育館で、生徒会主催の対面式がありました。
生徒会の工夫を凝らした演出が、場を和ませてくれました。

また、生徒会長の挨拶と、1年生の代表の挨拶。どちらも、しっかりとしていて、感激しました。

平成30年 4月 9日(月) 晴れ

午前中は新任式がありました。今年度関高校に着任された先生方の紹介です。
新任式に続いて始業式が行われました。その後、新学年、新学期、新たな気持ちで、神妙な面持ちでホームルームに望んでいました。ドキドキ感が伝わってきますね。

午後からは入学式。今年は小中高が同日になったため、高校は1時間いつもより時間を遅らせ、午後2時からの開始としました。真新しい制服に身を包み、初々しさたっぷりの1年生。

明日は対面式です。これで、また1年から3年まで皆揃います。2, 3年生は1年生の手本となるような先輩として、また、1年生は2, 3年生を見習って、ともに関高校を盛り上げて行ってほしいです。